

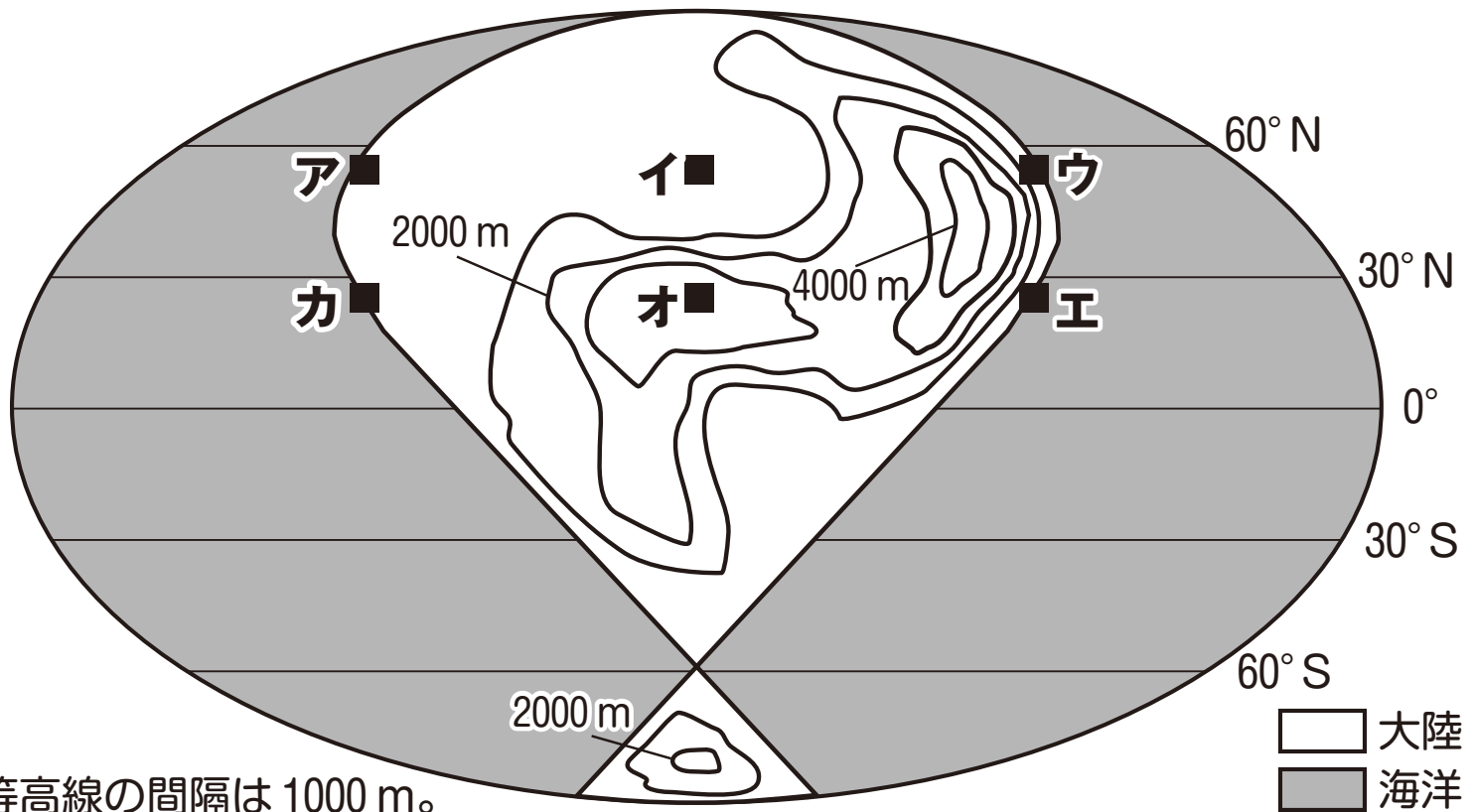
地理B (解答番号  ~ )

**第1問** 世界の自然環境に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

**A** 地理の授業で世界の気候と自然災害について学んだコハルさんのクラスは、気候の成り立ちやその変動の影響について各班で探究することにした。世界の気候と自然災害に関する次の問い(問1～3)に答えよ。

**問1** 各地の雨温図の特徴に影響を与える気候因子を確認するために、コハルさんの班は、仮想的な大陸と等高線および地点ア～カが描かれた次の資料1を先生から渡された。これらの地点から2地点を選択して雨温図を比較するとき、海からの距離による影響の違いが強く現れ、それ以外の気候因子の影響ができるだけ現れない組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

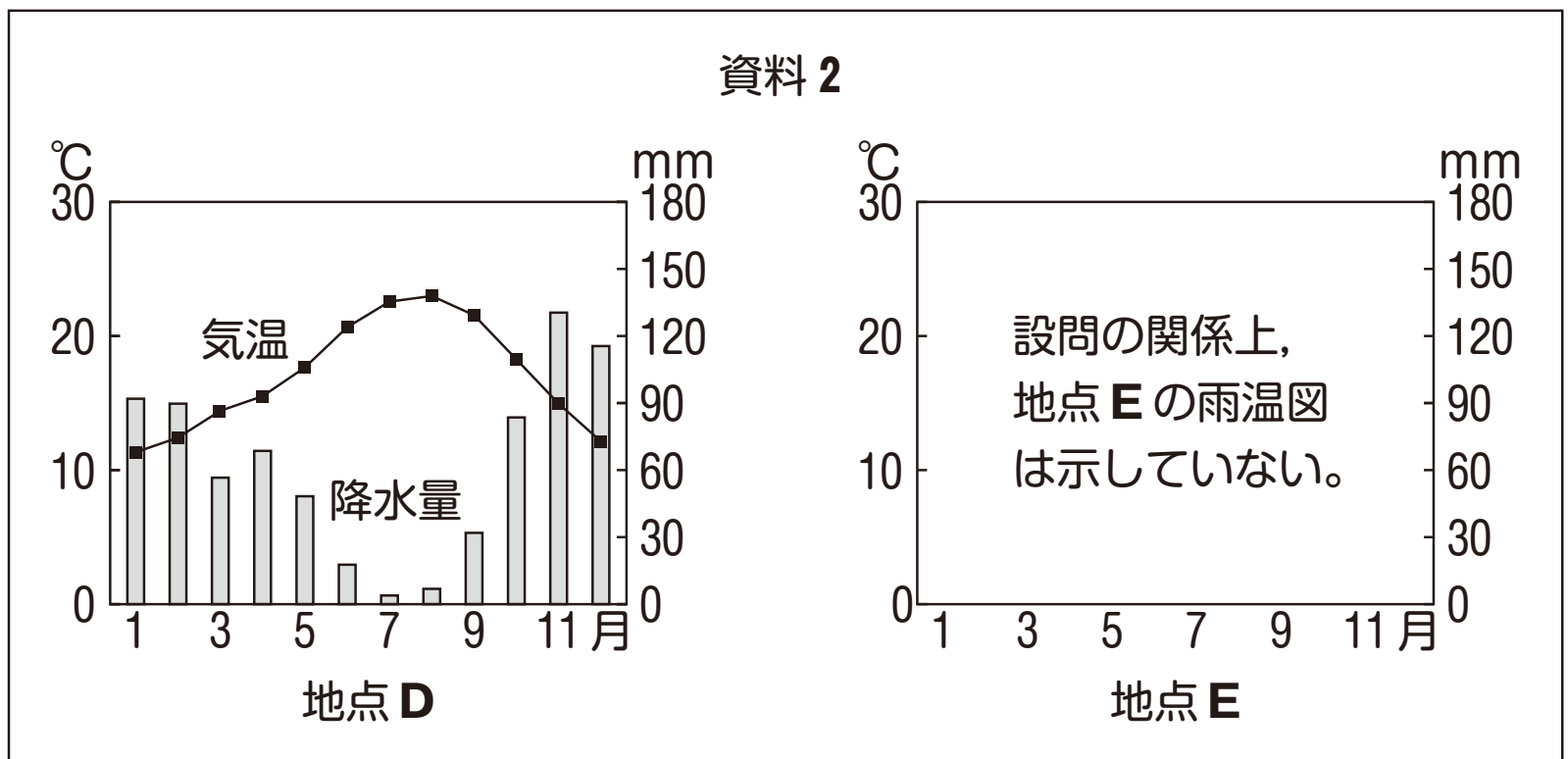
資料 1



- ① アとイ
- ② イとウ
- ③ エとオ
- ④ オとカ

問 2 次に、コハルさんの班は、ある地点DとEの二つの雨温図が描かれた次の資料2を先生から渡されて、雨温図に示された気候の特徴とその原因となる大気大循環について話し合った。後の会話文中の空欄サとシに当てはまる語の正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

2



気象庁の資料により作成。

コハル 「地図帳で調べてみると、地点**D**と**E**はどちらも沿岸にあり、地点**E**は地点**D**からほぼ真南に約800 km 離れているようだね」

イズミ 「最暖月や最多雨月は、それぞれ両地点で現れる時期がほぼ同じだね」

ミツハ 「地点**D**と**E**が位置する緯度帯では、降水量が多い時期の雨は、主に( **サ** )という気圧帯の影響を強く受けていることを授業で習ったよ」

コウ 「月降水量 30 mm 以上の月が続く期間に注目すると、地点**E**の方が地点**D**よりも( **シ** )のは、この気圧帯の移動を反映していると考えられるね」

	①	②	③	④
<b>サ</b>	亜寒帯低圧帯 (高緯度 低圧帯)	亜寒帯低圧帯 (高緯度 低圧帯)	熱帯収束帯 (赤道低圧帯)	熱帯収束帯 (赤道低圧帯)
<b>シ</b>	長い	短い	長い	短い

**問 3** コハルさんたちはまとめとして、気候変動などに関連した世界各地の自然災害の原因について、各班で調べてカードに書き出した。12ページの**a**～**d**は、タカシさんの班とコハルさんの班のカードであり、13ページの会話文は、その内容について意見交換したときのものである。会話文中の空欄**タ**には**a**と**b**のいずれか、空欄**チ**には**c**と**d**のいずれか、空欄**ツ**には13ページの文**G**と**H**のいずれかが当てはまる。空欄**タ**と**チ**のそれぞれに当てはまるカードと、空欄**ツ**に当てはまる文との組合せとして最も適切なものを、13ページの①～⑧のうちから一つ選べ。

3
---

(下書き用紙)

地理Bの試験問題は次に続く。

## カード

【タカシさんの班が調べた災害】 タイで雨季に起こった大洪水

**a**

河川上流域での森林減少による水源涵養機能の喪失

**b**

低緯度地域で発生した熱帯低気圧の襲来

【コハルさんの班が調べた災害】 東アフリカで飢餓をもたらした大干ばつ

**c**

貯水・給水施設の不足や内戦に伴う農地の荒廃

**d**

ラニーニャ現象を一因とした大気の循環の変化

タカシ 「自然災害には複数の原因があり，“災害のきっかけ”と“災害に対する弱さ”に分けられそうだよ」

コハル 「なるほど。そうすると，“災害に対する弱さ”に対応するのは，タイの洪水についてはカード（**タ**），東アフリカの大干ばつについてはカード（**チ**）だね」

タカシ 「被害を軽減するためには，“災害に対する弱さ”への対策を講じるとともに，“災害のきっかけ”が起こる状況を事前に知っておく必要がありそうだね」

コハル 「タイの洪水については，例えば，タイの雨季に降水量が多かった事例と（**ツ**）事例とで周辺の気圧配置や気流などを比較すると，タイでの“災害のきっかけ”を考えるヒントが得られそうだよ」

### （**ツ**）に当てはまる文

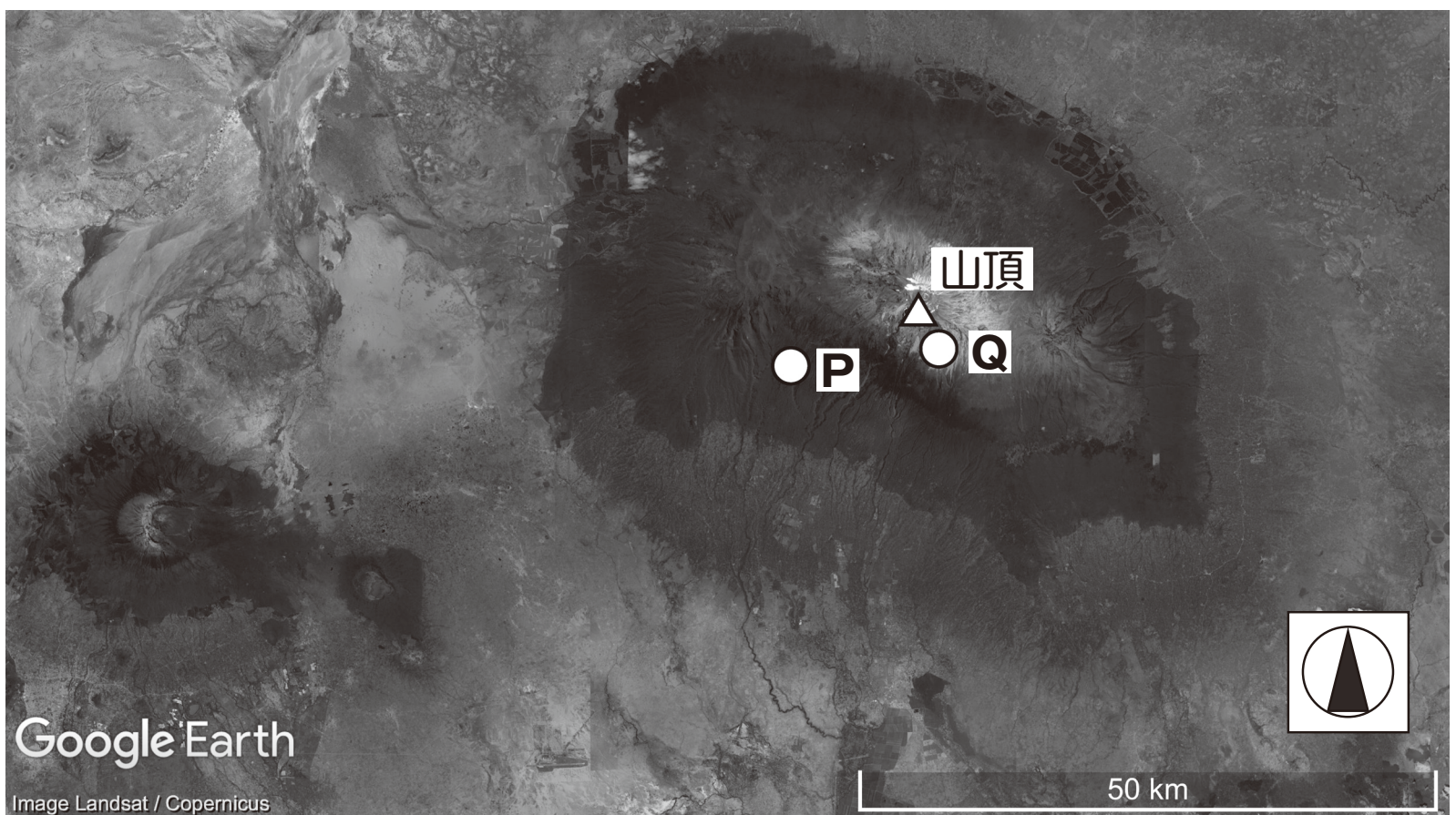
**G** 雨季に降水量が少なかった

**H** 乾季に降水量が多かった

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
<b>タ</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>
<b>チ</b>	<b>c</b>	<b>c</b>	<b>d</b>	<b>d</b>	<b>c</b>	<b>c</b>	<b>d</b>	<b>d</b>
<b>ツ</b>	<b>G</b>	<b>H</b>	<b>G</b>	<b>H</b>	<b>G</b>	<b>H</b>	<b>G</b>	<b>H</b>

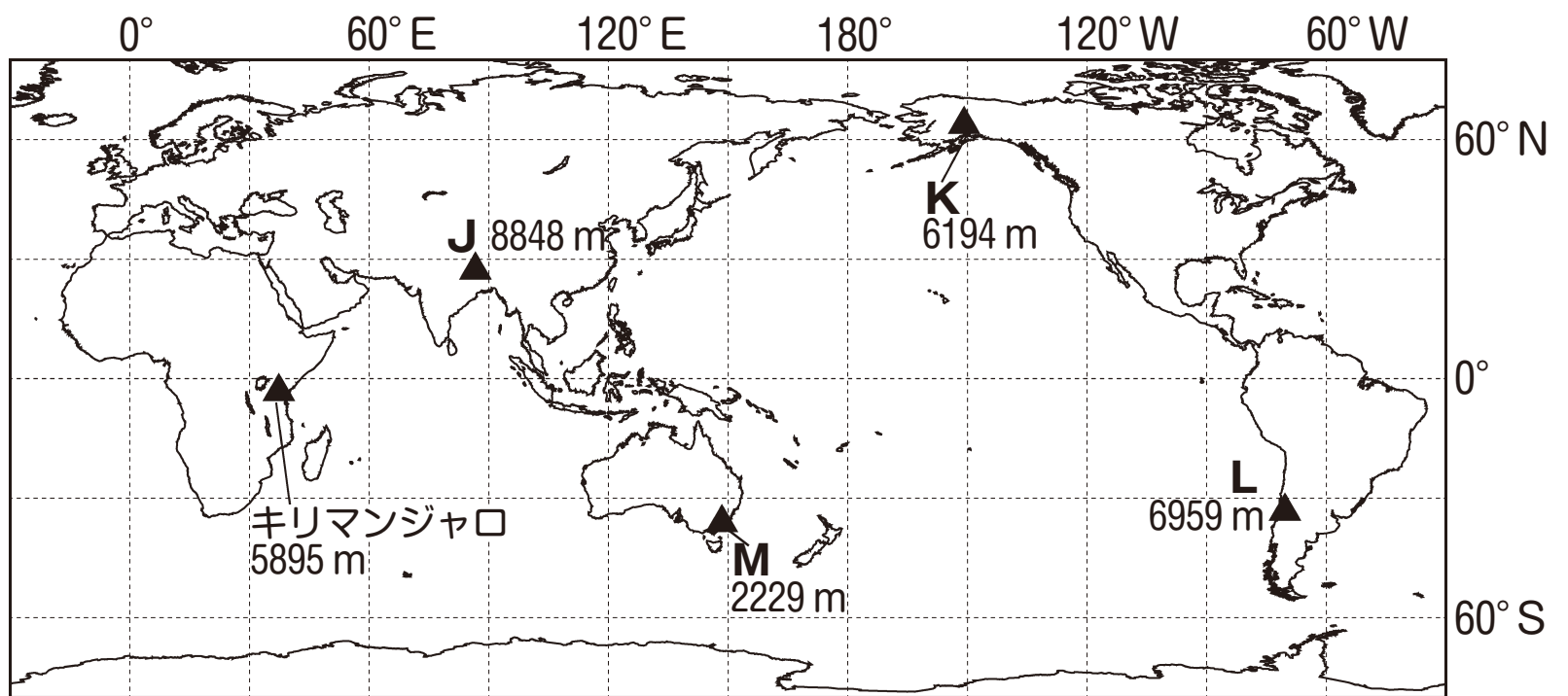


**B** 地理の授業で、世界の代表的な山を教材に取りあげて、世界の自然環境やその変化を考えることにした。次の図1と後の図2を見て、16ページの問い(問4～6)に答えよ。



Google Earth により作成。

図 1



『理科年表』などにより作成。

図 2

問 4 次の先生と生徒たちの会話文中の空欄マとミに当てはまる正しい数字を，後の①～④のうちから一つずつ選べ。ただし，同じものを繰り返し選んでもよい。マ  ・  
ミ

先生 「学校の休みを利用して，14 ページの図 1 に示したアフリカ大陸最高峰のキリマンジャロに登ってきました。キリマンジャロは，標高が 5895 m で，山頂付近には小規模な氷河がある火山です。15 ページの図 2 はキリマンジャロと，ユーラシア，北アメリカ，南アメリカ，オーストラリアの各大陸における最高峰の山 J～M の位置と標高を示しています。図 1 や図 2 からどのようなことが考えられるでしょうか」

アズサ 「現在の変動帯に位置している山は，山 J～M の中で ( マ ) つあります」

チヒロ 「氷河が分布している山は，山 J～M の中で ( ミ ) つあります」

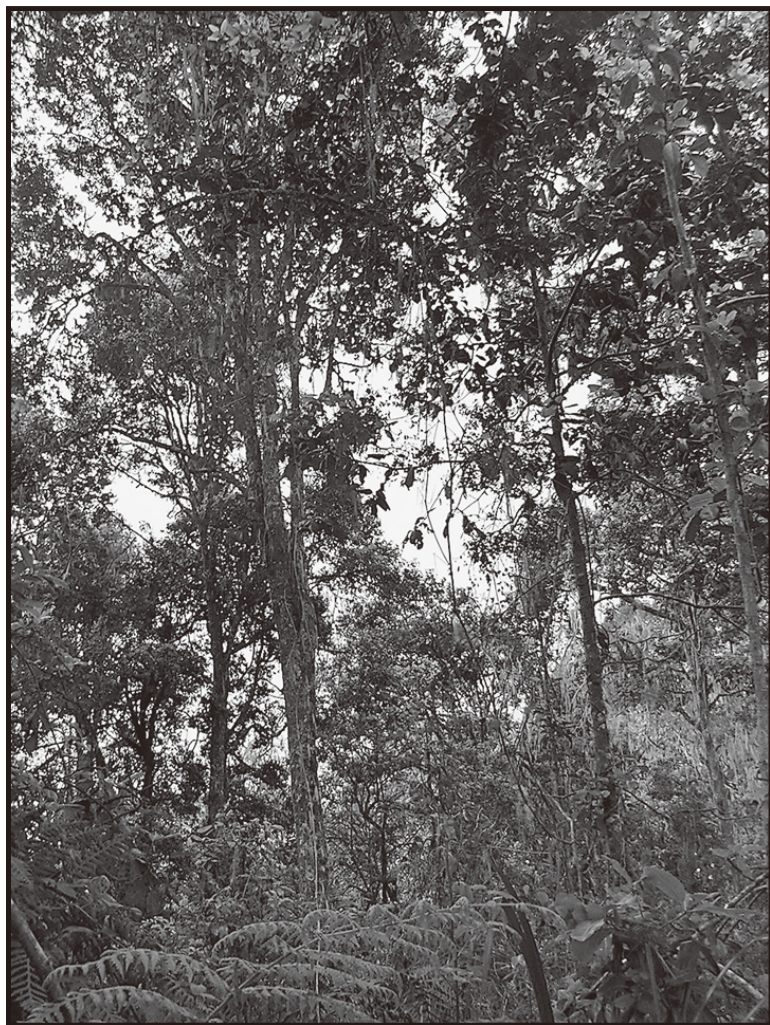
先生 「なるほど。みなさん様々な視点から山をとらえることができていますね」

- ① 1
- ② 2
- ③ 3
- ④ 4



問 5 次の写真 1 は、14 ページの図 1 中の地点 P と Q で先生が登山中に撮影したものであり、後の生徒たちの発言ヤとユは、写真 1 を見て両地点の自然環境を比較したものである。生徒たちの発言ヤとユの内容について誤りを含むものをすべて選び、その組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 

6
---



地点 P



地点 Q

写真 1

## 生徒たちの発言

**ヤ** 「森林の有無は降水量のみで決まるので，地点**P**の方が地点**Q**に比べて降水量が多いと考えられます」

**ユ** 「標高が高くなるにつれて気温は下がるので，地点**P**は地点**Q**よりも気温が高いと考えられます」

① ヤとユ

② ヤ

③ ユ

④ 誤りを含むものはない



**問 6** 生徒たちは、世界の山岳氷河の中に、急激に縮小しているものがあることを教わった。そこで、氷河の縮小に伴って、氷河に覆われた流域から流出する水の構成要素やその変化、それが生活に与える影響を調べ、次の資料 3 に模式図としてまとめた。資料 3 中の空欄ラには後の図 3 中の f ~ h のいずれか、空欄リには後の文 X と Y のいずれかが当てはまる。空欄ラとリに当てはまる図と文との組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。

7

**資料 3**

氷河縮小の初期

氷河縮小のピーク期

ラ

氷河の消失

流出する水の構成要素

- 氷河が融けた水
- 雪が融けた水
- 雨水
- 地下水

- ・ 氷河縮小の初期からピーク期にかけては、( リ )と予想される。
- ・ 氷河の消失は流域の貴重な水源を失うことにつながる。

IPCC の資料などにより作成。

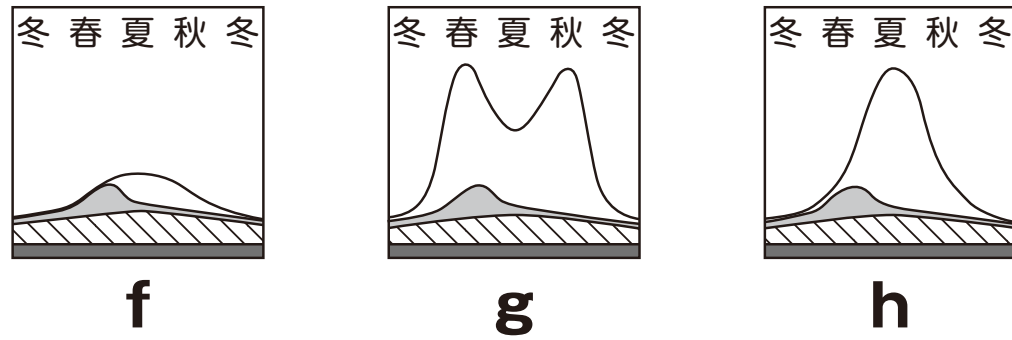


図 3

**X** 発電や農業などに利用できる水の量が一時的に増える

**Y** 氷河が融けた水によって発生する洪水の頻度が減少する

	①	②	③	④	⑤	⑥
ラ	f	f	g	g	h	h
リ	X	Y	X	Y	X	Y